

【予稿集】

つぶやかれたビブリオバトル

—ツイッターのデータから見た普及の進み方—

岡野裕行*, 桐村喬**

*皇學館大学文学部国文学科 **皇學館大学文学部コミュニケーション学科

*h-okano@kogakkan-u.ac.jp ** t-kirimura@kogakkan-u.ac.jp

2012～2014年の時期に、ツイッターに位置情報付きで「ビブリオバトル」という言葉が投稿されたデータを抽出し、都道府県別・月別にまとめた。その内容を分析すると、A) 各都道府県に到達した時期はいつか、B) 各都道府県でどの程度話題になっていたか、などの特徴を見出すことができた。

Tweeted about Bibliobattles

- Spread and Dissemination Process on Twitter -

Hiroyuki OKANO*, Takashi KIRIMURA**

*Department of Japanese Literature, Faculty of Letters, Kogakkan University

**Department of Communication, Faculty of Letters, Kogakkan University

1. 研究の目的

2007年に谷口忠大が考案したビブリオバトルは、ビブリオバトル普及委員会の設立(2010年)により、全国的な普及を目指すようになった[1]。

ビブリオバトルは、2012年に「Library of the Year 2012」の大賞を受賞し[2]、2013年に文部科学省「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」のなかで言及され[3]、2016年に「第10回高橋松之助記念 文字・活字文化推進大賞」の特別賞を受賞した[4]。また、2010年から大学生・大学院生による全国大会が始まり、2016年以降は小中高等学校の国語教科書への掲載事例も増加するなど、多方面への広まりが見られる。

ビブリオバトルがどの時期にどの程度話題になってきたのかは、メディア報道の記録に残されている[5]。しかし、個人レベルでどの程度話題にされてきたのかについては、特にこれまで研究がされてはいない。本研究ではデータに基づき、ビブリオバトルへの関心の推移について検討する。

2. 研究の方法

本研究の調査は、以下の手順で進めていった。

- ①2012年2月より桐村が収集を開始した位置情報付きのツイッターのデータから、文字列に「ビブリオバトル」という単語が含まれるツイートを、都道府県別・月別に抽出する。
- ②抽出したデータのうち、2012～2014年までの3年間分を、都道府県別・月別のツイート数の合計が算出されるように整理する[6]。
- ③その当時の普及状況と比較しながら、以上のようなデータが現れた背景について検討する。

3. 収集データの一覧とその分析

表1～3は、それぞれ2012～2014年までの3年間を対象として、「ビブリオバトル」という言葉が投稿されたツイート数を都道府県別／月別に示している。また、表4はそれら3年間分の総計である。これらの表から、以下二つの観点が導かれる。

- A) 各都道府県に到達した時期はいつか
全国的に見て、どの都道府県にどれだけ早い時点でツイートが出現したか。
- B) 各都道府県でどの程度話題になっていたか
どの都道府県・どの時期に、どれだけ多くのツイートが集まっていたか。

Aは時間的な早さであり、その都道府県のなかにどれだけ早くビブリオバトルの存在に気がついたユーザがいたのかを示している。そのユーザがビブリオバトルに継続的な関心を持たず、単発的にツイートしただけという可能性もあるが、少なくともその時点で、ビブリオバトルがその都道府県にまで話題として到達したことは指摘できる。

また、ツイート数の総数は、より多くの人たちがツイッター上でつぶやくようになったときに増える。そのため、ツイートの総数が増加している都道府県を確認できれば、Bのように、都道府県ごとにどの程度広まったのかが明らかになる。

4. 本研究のデータから明らかになったこと

北海道・大阪府・奈良県は、メディア報道でビブリオバトルが取り上げられた時期も早かったが、Aの観点からデータを眺めると、以下に示す通り、ツイッター上でもその傾向にあったことがわかる。

- ①2012年2月北海道：室蘭工業大学のサークル「ビブリオバトル室蘭」の開催
- ②2012年2月大阪府：堺市立図書館の開催[7]
- ③2012年3月奈良県：奈良県立図書情報館の開催[8]

Bの観点からは、以下に示すように、多くのビブリオバトル関係者が集まる機会に、ツイッターへの投稿が増加していることが明らかになる。

- ①2012年6月愛知県：ビブリオバトル普及委員会「春のワークショップ2012」の開催
- ②2012年10月東京都：東京都主催「ビブリオバトル首都決戦2012」ファイナルの開催

5. 今後の課題

今後の課題を述べる。一つ目は、データの収集範囲をより広範囲にすることである。本研究ではデータの都合上、2012～2014年までの3年間しか調査対象としていない。データが揃えば、普及がより進んだ2015年以降や2011年以前の状況についても、何らかの傾向が現れると予想される。

二つ目は、本研究ではあくまでもツイッターのデータをもとに分析をしているため、ビブリオバ

トルが実際に広がっている現実の状況と、そのまま重なるように対応しているとは言い切れない。

ツイッターにはまったく投稿しないままに、ビブリオバトルを実施している状況も当然想定される。

三つ目は、本研究ではあくまでも位置情報付きのツイートのデータに依拠しているため、実際に「ビブリオバトル」とツイートされた数は、もう少し多く見られると予想される。捕捉しきれていないツイートも含めて、再度調査の余地はある。

四つ目は、「ビブリオ」「ビブバト」などの省略形や“Bibliobattle”という表記も散見されるため、次はそれらのツイートも含めた調査も必要となる。

注・文献

- [1] 谷口忠大. ビブリオバトル:本を知り人を知る書評ゲーム. 文藝春秋, 2013, 232p.
- [2] 知的資源イニシアティブ (IRI). “Library of the Year 2012”. 2012-11-26. <https://www.iri-net.org/loy/loy2012/>, (参照 2020-05-22).
- [3] 文部科学省. “「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」について”. 2013-05-17. https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/05/1335078.htm, (参照 2020-05-22).
- [4] 高橋松之助記念顕彰財団. “第10回高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」受賞者決定のお知らせ”. 2016-09-29. <http://www.takahashi-award.jp/award/10/jyusyo.html>, (参照 2020-05-22).
- [5] ビブリオバトル普及委員会. “メディア掲載情報”. <http://www.bibliobattle.jp/media>, (参照 2020-05-22).
- [6] 桐村の収集データは、2015年以降に大もとのデータ形式に変更があったため、採録したデータ数が減少している。そのため、本研究では採録できたデータ数が多かった2012～2014年までの3年間の範囲を対象としている。
- [7] 堺市立図書館は公共図書館のなかで全国2番目にビブリオバトルを実施(2012年1月～)。
- [8] 奈良県立図書情報館は公共図書館のなかで全国初のビブリオバトルを実施(2011年3月～)。

表1：都道府県別／月別の「ビブリオバトル」のツイート数 (2012年)

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
北海道		2					1						3
青森県													0
岩手県													0
宮城県						1							1
秋田県													0
山形県													0
福島県													0
茨城県													0
栃木県													0
群馬県													0
埼玉県													0
千葉県					1	1	1						0
東京都					1	1	1			12			15
神奈川県													0
新潟県													0
富山県													0
石川県								1					1
福井県													0
山梨県													0
長野県													0
岐阜県													0
静岡県													0
愛知県						3		1					4
三重県													0
滋賀県				1									1
京都府						1	1						2
大阪府		1	1							1	1		4
兵庫県											3		3
奈良県			1	1	1								3
和歌山県													0
鳥取県													0
島根県													0
岡山県													0
広島県													0
山口県													0
徳島県													0
香川県				1									1
愛媛県													0
高知県													0
福岡県						1							1
佐賀県													0
長崎県													0
熊本県													0
大分県													0
宮崎県													0
鹿児島県								1				1	2
沖縄県													0
合計	3	2	3	2	2	6	3	0	2	14	4	2	41

表2：都道府県別／月別の「ビブリオバトル」のツイート数 (2013年)

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
北海道		2	1								1		4
青森県													0
岩手県							1			4			5
宮城県													0
秋田県													0
山形県													0
福島県													0
茨城県			1										1
栃木県													0
群馬県													0
埼玉県									1			1	2
千葉県				1							2		3
東京都	2	1		1		3	2	2	1	1	5		18
神奈川県					2								2
新潟県													0
富山県													0
石川県													0
福井県													0
山梨県													0
長野県											1		1
岐阜県													0
静岡県													0
愛知県				1	1	1					1		4
三重県											1		1
滋賀県											1		1
京都府			1		2			1	3	1	10		18
大阪府						1	1		1				4
兵庫県													0
奈良県				1							1		2
和歌山県													0
鳥取県													0
島根県													0
岡山県													0
広島県		2	1	1	1						1		6
山口県													0
徳島県													0
香川県													0
愛媛県													0
高知県													0
福岡県													0
佐賀県													0
長崎県													0
熊本県													0
大分県													0
宮崎県													0
鹿児島県													0
沖縄県										2			2
合計	2	5	5	4	4	6	5	4	3	5	9	25	74

表3：都道府県別／月別の「ビブリアバトル」のツイート数 (2014年)

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
北海道	2					10 ^{・1)}	2						14
青森県													0
岩手県		1											1
宮城県				1									1
秋田県											1		1
山形県									1				1
福島県													0
茨城県									1				2
栃木県													0
群馬県										1			1
埼玉県							1						1
千葉県	1	2											3
東京都	2	1	1	1	3	3	3	2	1	6	3	3	29
神奈川県		1	1							1		2	5
新潟県													0
富山県						1							1
石川県										2	1		3
福井県													0
山梨県			1										1
長野県			1										1
岐阜県													0
静岡県													0
愛知県		1	1	1					1			1	5
三重県					1								1
滋賀県						1	1			1			3
京都府	2		3	5	5	2	5	2	1	3		1	27
大阪府		1			2	2			2	1			6
兵庫県				1	3	1				1			6
奈良県					1		3		1	3		1	9
和歌山県													0
鳥取県													0
島根県													0
岡山県													0
広島県		4 ^{・1)}					1				1		6
山口県		1	2										3
徳島県													0
香川県				1									1
愛媛県									1				1
高知県													0
福岡県				1	1			1	1				4
佐賀県													0
長崎県													0
熊本県													0
大分県													0
宮崎県													0
鹿児島県													0
沖縄県													0
合計	7	11	7	8	13	25	15	7	6	18	9	11	137

表4：都道府県別「ビブリアバトル」のツイート数 (2012～2014年総計)

都道府県	総計
北海道	21 ^{・1)}
青森県	0
岩手県	6
宮城県	2
秋田県	1
山形県	1
福島県	0
茨城県	3
栃木県	0
群馬県	1
埼玉県	3
千葉県	6
東京都	62 ^{・1)}
神奈川県	7
新潟県	0
富山県	1
石川県	4
福井県	0
山梨県	1
長野県	2
岐阜県	0
静岡県	0
愛知県	13 ^{・1)}
三重県	2
滋賀県	5
京都府	47 ^{・1)}
大阪府	14 ^{・1)}
兵庫県	9
奈良県	14 ^{・1)}
和歌山県	0
鳥取県	0
島根県	0
岡山県	0
広島県	12
山口県	3
徳島県	0
香川県	2
愛媛県	1
高知県	0
福岡県	5
佐賀県	0
長崎県	0
熊本県	0
大分県	0
宮崎県	0
鹿児島県	4
沖縄県	0
合計	252

注

- a) 2012年2月よりデータ収集を開始したため、2012年1月のデータは含まれていない。
- b) 室蘭工業大学「ビブリアバトル室蘭」の開催に関係したツイート。
- c) 堺市立図書館での開催に関係したツイート。
- d) 奈良県立図書館での開催に関係したツイート。
- e) 「ビブリアバトル春のワークショップ2012」に関係したツイート。
- f) 「ビブリアバトル首都決戦2012」の開催に関係したツイート。
- g) 「ビブリアバトル首都決戦2013」及びカフェ (荻窪6次元) の開催に関係したツイート。
- h) 2013年11月4日のラジオ番組 (FM802) でビブリアバトルが取り上げられており、考案者・谷口忠大が個人アカウント (@tanichu) でラジオの感想を連続ツイートしている。
- i) 2014年6月14日に開催した「ビブリアバトル春のワークショップ2014」に関係したツイート。
- j) とある大学生が、ゼミ内で実施するビブリアバトルの発表者に選ばれたが、資格の勉強と車校とアルバイトでとても忙しくて準備の時間が足りなくて大変だ、という気持ちを連続ツイートしている。
- k) 「ビブリアバトル室蘭」及び「ビブリアバトル春のワークショップ2014」に関係したツイートが多く見られる。
- l) 2012及び2013年の「ビブリアバトル首都決戦」のほか、書店 (紀伊國屋書店新宿南店や有隣堂)、図書館 (千代田図書館や六本木ライブラリー)、カフェ (荻窪6次元)、イベント空間 (東京カルチャーカルチャー)、本のイベント (神保町古本まつりや一箱古本市) などに開催したツイートが見られる。
- m) 2012～2013年にかけて2年連続で開催した「ビブリアバトル春のワークショップ」に関係したツイートが多く見られる。書店 (ちくさ正文館書店本店) や図書館 (愛知県図書館と名古屋図書館) でのツイートもいくつか見られる。
- n) ビブリアバトル考案者・谷口忠大の個人アカウント (@tanichu) のツイートが半分以上を占めている (47ツイートのうち26ツイート)。
- o) 堺市立図書館での開催に関係したツイートのほかは、単発的なものも多く見られる。
- p) 奈良県立図書館での開催に関係したツイートが多い (14ツイートのうち8ツイートが該当)。